

学校教育目標「笑顔いっぱい ともに輝く小山台」



小山台

学校だより

6月号

令和8年5月29日

横浜市立 小山台小学校

「チーム小山台」で育む 安心・安全な学びの場

副校長 村上 剛

紫陽花が色づき始め、梅雨の気配が近づいてまいりました。新緑がまぶしい全面芝生の校庭では、子どもたちが元気に駆け回り、その姿に日々大きな力をもらっています。

6月はいよいよサッカーのワールドカップが開幕します。私自身、学生時代にサッカーに打ち込んできたこともあり、この4年に一度の大会には特別な思いがあります。サッカーは、選手だけでなく、サポーターやスタッフなど多くの人々の支えによって成り立つ「チームのスポーツ」です。この視点は、学校教育にも深く通じるものがあります。

本校は規模こそ大きくありませんが、その分、担任だけでなく全ての教職員が子どもたち一人ひとりの顔と名前を把握し、力を合わせて成長を支えています。「学校全体で子どもを育てる」という姿勢こそ、私たちが大切にしている“チーム小山台”の考え方です。着任して2か月、日々の教育活動の中でその温かさや力強さを実感しています。

この“チーム”は、地域・保護者の皆様へと大きく広がっています。集団登校がなくなった今年度も、旗当番や防犯ボランティアの皆様の見守りにより、安全な登校が保たれています。また、1年生の給食支援や読み聞かせ、校外学習の付き添い、芝生の維持管理など、さまざまな場面で多くの保護者や地域のボランティアの皆様に支えていただいております。心より感謝申し上げます。皆様の温かな支えが、子どもたちの学校生活をより豊かなものにしています。

暑さが本格化し、熱中症への心配も高まる6月は、子どもたちの体調や気持ちが揺れやすい時期でもあります。6月に予定している交通安全教室や水泳指導においても、保護者・地域の皆様のお力をいただき、子どもたちの安全確保と学びの充実に努めてまいります。

子どもたちを取り巻く、恵まれた環境の中で、学校・家庭・地域が一つの「大きなチーム」となり、これからも子どもたちの成長を支えていきたいと考えております。そして、世界の舞台上で活躍する選手たちが多くの支えを力に変えてピッチの上で躍動するように、“チーム小山台”の見守りの中で、子どもたちもまた芝生の校庭を元気いっぱいに駆け回っています。

これからも、子どもたちが安心して学び、挑戦できる学校づくりを引き続き進めてまいります。今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

子どもたちの学校生活の様子については、小山台小学校のホームページ「学校日記」に随時掲載しています。ぜひご覧ください。

